

# パラグアイの大統領と会談で話題

# 豆腐100万丁支援に

# 天皇陛下が謝意

東日本大震災の被災者に南米パラグアイの日系農家が生産した大豆で作った豆腐を届ける支援活動が30日、パラグアイから来日したルゴ大統領と天皇陛下の会談で話題になった。この活動に携わる美濃加茂市の食糧輸入会社「ギアリンクス」の関係者らは「天皇陛下にも活動を知ってもらえて、パラグアイの日系社会のみなさんに喜んでもらえる」と感激していた。



被災者への豆腐100万丁の寄贈を達成し、さらに30万丁の上積み为目标に協力を呼びかけるギアリンクスの中田智洋社長（右）ら＝中津川市のちこり村

この活動は震災が起きた昨年3月11日、パラグアイに出張していた中田智洋社長に、同国イグアスの農協の日系人が「母国に何か支援したい」と申し出たのがきっかけ。中田さんの提案で、農協が生産する大豆100トで豆腐100万丁を作り、被災者に届けることになった。同国政府も10万ドルの資金援助をしてくれた。

ギアリンクスが受け入れ先となり、3月末までに100万丁の寄贈を達成。野田首相から現地の人たちへの感謝状は中田さんが届けた。中田さんは「被災者のみなさんに喜ばれ、陛下も感謝の意を示された。パラグアイのみなさんとともに感激の気持ちを共有したい」と話した。

大豆がまだ残っており、さらに30万丁分の豆腐を被災者に贈る予定。加工費が足りないため、同じ豆腐を

1丁100円で販売した利益を豆腐加工費に充てる。「豆腐1丁を買ってもらおうことで被災者に豆腐1丁の支援ができる」と協力を呼びかける。

豆腐は、中津川市千旦林の「ちこり村」で販売中。問い合わせは、同村ギアリンクス担当の渡辺佳平さん（0573・66・5111）へ。

## 全国版 社会面

### ■ 陛下、パラグアイ大統領と会見

天皇陛下は30日午前、皇居・御所で、南米パラグアイから来日したルゴ大統領と会見した。2008年の初当選以来、初の来日。

宮内庁によると、陛下は東日本大震災の際の同国の支援に感謝を伝えた。日系農家が現地で生産した大豆100トを豆腐100万丁に加工し被災地に贈る運動が進められ、同国政府が約10万ドルを資金提供した。大統領は「これまでに日本から受けた支援からすれば不十分だが、我々の気持ちです」と答えたという。